

(平成25年1月分)

部 門	市況の概要
野 菜	<p>1月期の野菜の入荷状況は、根菜類では、低温のため肥大不良がみられたものの前年の入荷が少なかったことから、長ダイコンが前年同期並み、西洋ニンジンで入荷増となった。葉菜類、果菜類では、多くの品目で、曇天と低温の影響により作柄不良がみられたことから入荷減又は前年並みとなったが、ハウレンソウで低温により生育の遅れていたものの入荷が本月に集中したことから入荷増、ナスで中央集散機能により入荷増となった。土物類では、多くの品目で概ね作柄順調であったことから入荷増となった。野菜全体の入荷量は前年並みとなった。</p> <p>価格は、根菜類では長ダイコン、西洋ニンジンで需要堅調による単価高、土物類では、バレイショ、タマネギで入荷増による単価安、葉菜類、果菜類ではそれぞれ、入荷減であったレタス、前月から品薄状態が続いているピーマンで単価高、前年単価高であったキャベツ、入荷増であったハウレンソウ、ナスでは単価安となった。野菜全体では前年同期を3%下回った。</p> <p>品目別には、西洋ニンジンが入荷増の単価高、ハウレンソウ、ナス、バレイショ、タマネギが入荷増の単価安、長ダイコン、キュウリ、ピーマンが入荷前年並みの単価高、キャベツが入荷前年並みの単価安、レタスが入荷減の単価高、ハクサイが入荷減の単価前年並み、トマトが入荷減の単価安となった。</p>
果 実	<p>根菜類は、入荷、価格ともに前年並みとなった。 葉菜類は、入荷、価格ともに前年並みとなった。 果菜類は、入荷、価格ともに前年並みとなった。 土物類は、入荷が8%増加し、価格は9%安となった。</p> <p>1月期の果実の入荷状況は、カンキツ類では、ミカンで前年の入荷が多かったことから入荷減、イヨカンで貯蔵期間を長くしていることから入荷減、イチゴ類では、前月の生育遅れ分が今月にずれ込んだことから入荷増、リンゴ類では、ふじで輸出が好調で国内の出回りが減少していることから入荷減、メロン類では、加温用重油の高騰による作付面積の減少から入荷減となった。果実全体の入荷量は前年同期並みとなった。</p> <p>価格は、柑橘類では、ミカンで下位等級が多かったことから単価安、イヨカンで需要の低迷により単価安、リンゴ類、メロン類では、需要の低迷により単価安、入荷増であったイチゴ類では単価安となった。果実全体では、前年同期を3%下回った。</p> <p>品目別には、イチゴが入荷増の単価安、王林が入荷前年並みの単価安、ミカン、イヨカン、ふじリンゴ、アールスメロンが入荷減の単価安となった。</p>

	<p>柑橘類は、入荷が6%減少し、価格は9%安となった。 リンゴ類は、入荷が3%減少し、価格は25%安となった。 イチゴ類は、入荷が41%増加し、価格は13%安となった。 メロン類は、入荷が25%減少し、価格は4%安となった。</p>
--	---

主要品目（野菜）	市況の概況
<p data-bbox="236 232 379 277">【根菜類】</p> <p data-bbox="220 277 395 322">長ダイコン</p> <p data-bbox="220 604 414 649">西洋ニンジン</p>	<p data-bbox="513 277 1439 353">徳島県を中心に、鹿児島県、長崎県、和歌山県、神奈川県からの入荷。</p> <p data-bbox="513 358 1439 479">多くの産地で、低温のため肥大不良がみられたものの、前年の入荷が少なかったことから、全体の入荷量は、前年同期並みとなった。</p> <p data-bbox="513 483 1439 560">価格は、需要が堅調であったことから、前年同期を21%上回った。</p> <p data-bbox="513 604 1439 649">長崎県を中心に、鹿児島県、愛知県、鳥取県、中国からの入荷。</p> <p data-bbox="513 654 1439 810">多くの産地で、前月に前進出荷したため入荷は少なく、また、鹿児島県産で低温により小玉傾向であったものの、前年の入荷が少なかったことから、全体の入荷量は、前年同期を10%上回った。</p> <p data-bbox="513 815 1439 891">価格は、加工需要が堅調であったことから、前年同期を3%上回った。</p>
<p data-bbox="236 896 379 940">【葉菜類】</p> <p data-bbox="220 940 351 985">ハクサイ</p>	<p data-bbox="513 940 1439 1016">鹿児島県を中心に、兵庫県、茨城県、愛知県、滋賀県からの入荷。</p> <p data-bbox="513 1021 1439 1097">一部の産地で、低温により作柄不良がみられたことから、全体の入荷量は、前年同期を3%下回った。</p> <p data-bbox="513 1102 1439 1178">価格は、小玉傾向であったものの、需要が堅調であったことから、前年同期並みとなった。</p>
<p data-bbox="220 1227 351 1272">キャベツ</p>	<p data-bbox="513 1227 1439 1303">愛知県を中心に、鹿児島県、滋賀県、大阪府、京都府からの入荷。</p> <p data-bbox="513 1308 1439 1429">多くの産地で、低温により生育の遅れがみられたものの、鹿児島県産の入荷が増えたことから、全体の入荷量は、前年同期並みとなった。</p> <p data-bbox="513 1433 1439 1509">価格は、前年が単価高であったことから、前年同期を12%下回った。</p>
<p data-bbox="220 1563 414 1608">ホウレンソウ</p>	<p data-bbox="513 1563 1439 1608">京都府を中心に、徳島県、福岡県、滋賀県、鳥取県からの入荷。</p> <p data-bbox="513 1612 1439 1688">多くの産地で、低温により生育の遅れていたものの入荷が本月に集中したため、全体の入荷量は、前年同期を21%上回った。</p> <p data-bbox="513 1693 1439 1738">価格は、入荷増により前年同期を15%下回った。</p>
<p data-bbox="220 1765 319 1809">レタス</p>	<p data-bbox="513 1765 1439 1809">兵庫県を中心に、徳島県、長崎県、愛媛県、岡山県からの入荷。</p> <p data-bbox="513 1814 1439 1890">各産地とも、低温により小玉傾向の入荷であったことから、入荷量は、前年同期を19%下回った。</p> <p data-bbox="513 1895 1439 1939">価格は、入荷減により前年同期を39%上回った。</p>

<p>【果菜類】</p>	
<p>キュウリ</p>	<p>宮崎県を中心に、高知県、滋賀県、徳島県、長崎県からの入荷。 各産地とも、曇天と低温の影響から生育遅れがみられたものの、中旬からの回復傾向により、全体の入荷量は、前年同期並みとなった。 価格は、中旬まで品薄状態であったことから、全体では前年同期を6%上回った。</p>
<p>ナス</p>	<p>高知県を中心に、岡山県からの入荷。 各産地とも、低温の影響から作柄不良がみられたものの、中央集散機能の発揮により、全体の入荷量は、前年同期を21%上回った。 価格は、入荷増により、前年同期を11%下回った。</p>
<p>トマト</p>	<p>熊本県を中心に、福岡県、京都府、佐賀県、宮崎県からの入荷。 主力の熊本県産で、曇天と低温の影響から着色遅れがみられたことから、全体の入荷量は、前年同期を14%下回った。 価格は、入荷減であったものの、需要も低調であったことから、前年同期を4%下回った。</p>
<p>ピーマン</p>	<p>宮崎県を中心に、高知県、鹿児島県からの入荷。 各産地とも、曇天と低温の影響から作柄不良がみられたものの、前年の入荷が少なかったことから、全体の入荷量は、前年同期並みとなった。 価格は、前月より品薄状態が続いていることから、全体では前年同期を28%上回った。</p>
<p>【土物類】</p>	
<p>バレイショ (メーク含む)</p>	<p>北海道を中心に、長崎県、鹿児島県からの入荷。 各産地ともに、生育期の好天により作柄順調であったことから、入荷量は、前年同期を3%上回った。 価格は、入荷増により、前年同期を8%下回った。</p>
<p>タマネギ</p>	<p>北海道を中心に、兵庫県、中国、静岡県からの入荷。 主力の兵庫県産で作柄不良であったものの、北海道産で、天候に恵まれ作柄良好であったことから、全体の入荷量は、前年同期を13%上回った。 価格は、入荷増により、前年同期を3%下回った。</p>
<p>【その他野菜】</p>	
<p>生シイタケ</p>	<p>徳島県を中心に、北海道、広島県、和歌山県、岡山県からの入荷。 主力の広島県で、入荷が減少していることから、全体の入荷量は、前年同期を10%下回った。 価格は、入荷増であったものの、需要が堅調であったことから全体の入荷量は、前年同期並みとなった。</p>

主要品目（果実）	市況の概況
ミカン	<p>和歌山県を中心に、福岡県、香川県からの入荷。</p> <p>多くの産地で、前月の降雨による収穫遅れ分の入荷が本月にずれ込んだものの、前年の入荷が多かったことから、全体の入荷量は、前年同期を3%下回った。</p> <p>価格は、下位等級が多かったことにより、前年同期を12%下回った。</p>
イヨカン	<p>愛媛県からの入荷。</p> <p>酸高傾向により貯蔵期間を長くしていることから、入荷量は、前年同期を12%下回った。</p> <p>価格は、需要の低迷により、前年同期を7%下回った。</p>
ふじ (サン含む)	<p>青森県を中心に、岩手県、長野県からの入荷。</p> <p>主力の青森県産で、輸出が好調で国内の出回りが減少していることから、全体の入荷量は、前年同期を3%下回った。</p> <p>価格は、需要の低迷により、前年同期を27%下回った。</p>
王林	<p>青森県を中心に、岩手県からの入荷。</p> <p>主力の青森県産で、生産面積が増加傾向にあり、小玉傾向であるものの、全体の入荷量は、前年同期並みとなった。</p> <p>価格は、黄系品種の需要の低迷により、前年同期を29%下回った。</p>
イチゴ	<p>福岡県を中心に、熊本県、大分県、佐賀県、長崎県からの入荷。</p> <p>各産地とも、前月の生育遅れ分の入荷が本月にずれ込んだこと、また、前年の入荷が少なかったことから、全体の入荷量は、前年同期を41%上回った。</p> <p>価格は、入荷増により、前年同期を13%下回った。</p>
アールス	<p>静岡県を中心に、高知県、熊本県からの入荷。</p> <p>多くの産地で、加温用重油の高騰から作付面積の減少、また、使用を控えているため下位等級の比率も高いことから、全体の入荷量は、前年同期を18%下回った。</p> <p>価格は、需要の低迷により前年同期を7%下回った。</p>